

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当 課室
ジェン ダー平 等	女性が活躍す る場について	最近、「女性が活躍す る場を」とよく聞くが、 活躍する場と言われて も、なかなか具体的なイ メージが掴みづらい。ど のようなものか、いいの か、或いはどうしたらよ いか、構想等があれば教 えていただきたい。	女性が活躍する前提として、性別に関 わりなく誰もが個性と能力を発揮できる 環境が必要であると考えています。 そのため、今年度から、女性の能力発 揮の妨げとなっている職場等における ジェンダー・ギャップ（男女格差）を解 消するため、新たにジェンダー平等推進 プロジェクト事業を実施し、県民の皆様 の取組に向けた気運醸成を図ってまいり ます。	男女共 同参 画 室
人づく り	若者が就労で きる企業につ いて	若い人たちが県内で働 ける企業があるとよい。	県では、県就職情報提供サイト「かご Job」において、県内就職希望者等に対し 県内企業の魅力を効果的に情報発信する ほか、各地域振興局・支庁等において も、企業紹介パンフレットの作成や合同 企業説明会の開催等を通じて県内企業の 魅力をPRするなど、若者の県内就職促 進を図っております。 起業支援については、起業準備に取り 組む方々等を対象に、ビジネスプラン策 定の支援、ビジネスプランコンテストへ の参加の働きかけ、事業化に当たって必 要となる設備やPRに係る経費の補助な どを通じて、一貫した伴走支援を行うこ ととしているほか、これまで実施してき た働く女性のキャリアアップ等を支援す るセミナーに加え、今年度は、女性の起 業を支援するセミナー等も開催すること としています。 また、かごしま製造業振興方針に基づ き、食品・電子・自動車の重点分野に加 え、ヘルスケアや環境・新エネルギー、 情報通信、ロボットなど、今後成長が期 待される産業分野等における企業の誘致 を推進しており、若者の雇用の場の創出 に向け、引き続き、企業立地に向けた取 組を積極的に行ってまいります。	産業立 地課 新産業 創出室 商工政 策課 雇用労 政課 男女共 同参 画 室

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当 課室
人づくり	若者について	どのような若者が増えたらいいと思っているか。また、今後どのような若者たちが鹿児島を支えていくと考えているか。	<p>青少年の自立の精神と豊かな感性のかん養、国際的感覚やふるさとを愛する心を醸成するために、郷土芸能等の伝承活動等に取り組む団体への支援や他県及び海外との交流など青少年の活動促進等の取組を実施してまいります。</p> <p>また、学校や地域において、郷土の歴史・文化・産業を学ぶ活動や、大自然をフィールドとした体験活動、地域の食材を使った商品開発をはじめとする地域課題の解決を目指した取組、農業や観光業など地域を支える職場におけるインターンシップなどを通じて郷土に誇りをもてるよう、郷土教育の充実を図ってまいります。</p>	青少年 男女共 同参画 課 義務教 育課
観光・PR	大隅半島の観光地について	何か観光地になるようなことはできないのか。観光で、大隅半島を何とかしてほしい。	<p>県では、関西圏在住の方々に大隅地域へ来ていただくため、フェリーさんふらわあとタイアップし、大阪メトロ本町駅構内において、大隅半島の観光地やグルメを紹介するとともに、大隅の観光地を巡るモデルルートを作成し、ホームページで紹介しているところです。</p> <p>観光振興のためには、地域の多様な主体が連携して、広域的に「観光地域づくり」に取り組むことが重要であり、その中心となるのがDMOのような組織であると考えております。</p> <p>このため、稼げる観光地域づくりに向けた組織づくりや人材育成の支援に取り組んでまいります。</p>	観光課
観光・PR	在留外国人のSNS等の情報発信によるインバウンド対策について	企業実習生が経験していることなどを、SNSやフェイスブックを通して写真等で発信しており、ものすごいフォロワーの数で、彼らの自国に限らずいろんな国の方が見ている。この地域を素晴らしいところ、いいところだよと発信してくれるのは、観光についてもプラスになる。インバウンド需要に力を入れている鹿児島県において、企業実習生のそういった労働力以外の価値に気付いているか。	<p>外国人技能実習生などの在留外国人の皆さんが、SNS等を活用し、自然や歴史、食などの多彩な鹿児島の魅力を実体験に基づき発信してくださることは、本県の認知度向上や観光誘客などに期待できると考えています。</p> <p>昨年度は、県内にお住まいの在留外国人の方を対象に「奄美大島」の魅力をSNSで発信していただくモニターツアーを実施したところですが、今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、引き続き実施したいと考えています。</p> <p>また、今年度リニューアルを予定している多言語版観光サイトに地域の行事やイベントなどをタイムリーに掲載できるようにし、サイトを通じた在留外国人向けの情報提供にも取り組んでまいります。</p>	観光課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当課室
観光・PR	プレミアム宿泊券等の購入機会の平等について	観光業に携わっているが、4月1日に販売が行われたプレミアム宿泊券の販売を知らなかったというお客様が数多いなという印象がある。どうしても4月1日、年度初めの10時30分から窓口に並ぶというのは難しい方も多く、個人的な意見としては、平等性に欠けるなといった印象があった。販売時間が一斉だと、1、2分で売り切れたという話をよく耳にするので、検討いただきたい。	今回のプレミアム宿泊券の販売については、3月31日まで実施していた旅行商品の割引から切れ目なく旅行需要喚起を図るために、4月1日からの販売としたところ。いただいた御意見につきましては、今後の事業執行の参考にさせていただきます。	観光課
文化振興	文化芸術面の郷土教育について	地域の若い子たちが、自分たちの地域を誇って、将来的に人材として戻ってくるような教育ができるように、文化芸術を活用できれば、文化に携わる人間としてもやりがいがある。もっともっと自分たちが持っている技術を、県とか地域のために生かしていきたい。県として、長期的な戦略をどのように考えているのか。	県では、地域の若者が文化芸術を通じて自分たちの地域に誇りを持てるよう、鑑賞機会の充実や地域文化の継承・発展等に取り組むとともに、これらを基本方針とする県文化芸術推進基本計画を、本年3月に策定したところ。今後とも、鹿児島で生まれ育った若者がふるさとに誇りを持てるよう、同計画に基づき、小・中学校等の児童・生徒を対象として音楽、舞踊の公演を行う等の事業を実施してまいります。また、地域文化を含む地域資源の発掘・磨き上げ、さらに、観光資源としての活用については、地域全体の観光資源をコーディネートするDMOのような組織において、戦略的に行っていくことが重要であると考えています。このため、稼げる観光地域づくりに向けた組織づくりや人材育成の支援に取り組んでまいります。	文化振興課 観光課
			郷土教育については、将来鹿児島に住んで、郷土の発展を支えようとする人材を育成するため、鹿児島の歴史、伝統、文化、産業、地域の特性等を理解し、ふるさとに誇りをもつことができるような教育を実施しています。例えば、学校においては、大島紬の泥染め体験に参加して伝統的工芸品の学習を行ったり、棒踊りや諸鈍シバヤといった郷土芸能の伝承に取り組んだりしています。また、民俗芸能の伝承意欲を高め、後継者の育成を図るため、無形民俗文化財の伝承活動に取り組んでいる児童生徒に対する表彰制度を設けています。	義務教育課 文化財課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当 課室
林業	本県の木材産業の発展について	<p>ここ数日、「ウッドショック」と言われて、木材が急騰している。住宅の価格が上がりつつある大変な状況であるが、鹿児島県の林業や木材産業がこれから発達するにはいいチャンスだと考えている。これを機に、鹿児島県の木材産業が日本でもトップレベルになるような状況をつくれると嬉しい。</p>	<p>県では、木材需要の高まりを好機と捉え、品質や性能の確かな県産JAS製材品の生産体制の整備や付加価値の高い製材品の輸出拡大に向けた取組を支援するなど、本県木材産業の競争力強化に努めてまいります。</p> <p>また、森林資源の循環利用を促進することが重要であることから、特に再造林を推進するため、造林・保育コストの低減、労働力の確保・育成、優良苗木の安定供給体制づくりなどの取組を一体的に進めてまいります。</p>	<p>かごしま材振興課 森林経営課</p>
高齢者支援	高齢者の生活支援について	<p>色々な不便があり、困っている高齢者が鹿屋だけではなく県内でも結構いるんじゃないかと思う。そういった方々に対し、何かいい手だてがあれば教えていただきたい。</p>	<p>県では在宅高齢者の生活支援・外出支援活動や見守り・声かけなどに取り組む個人・グループに対し、地域商品券等と交換できるポイントを付与する事業を実施し、高齢者を地域全体で支える活動を促進しています。</p> <p>また、持続的な生活支援の担い手養成を図るため、住民参加型福祉サービスの組織化・活性化支援にも取り組むこととしています。</p>	<p>高齢者生き生き推進課 社会福祉課</p>

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当室
子育て支援	安心できる出産子育て環境づくりの整備について	大隅はすごく住みやすい場所でありながら、安心して出産し育てる環境が整っていない。 特に産婦人科が少なく、大隅で出産したい人が困っているという声をよく耳にする。 知事にはこの現状がどう映っているのか伺いたい。	県では、地域周産期母子医療センターである鹿屋医療センターに対し、運営費の補助を行うとともに、鹿児島大学と連携した産科医の派遣を行うなど、大隅地域の産科医療体制の確保に取り組んでいるところです。 また、医師不足が顕著な産科医を確保するため、分娩手当を支給する産科医療機関への助成、産科等の専攻医に対する奨励金の支給、医師修学資金貸与制度における産科等の特定診療科枠の設定を行っています。 引き続き、市町村や関係機関と連携して、県内のどこにいても安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでまいります。	子ども家庭課 医師・看護人材課
子育て支援	鹿屋医療センターで小児が入院する際の保護者の付き添いについて	大隅半島で唯一（子供が）入院ができる施設が鹿屋医療センターであるが、その時に必ず付き添わなければならないという条件がある。（入院が長期間になると家族の負担も大きい）。入院している子供の親が付き添わなければならない環境を、医療センターの小児科医にも相談したが、鹿屋医療センターではそれしかできないという回答だったので、そのことを検討していただきたい。	鹿屋医療センターにおいては、原則、お子様の安全確保や何より不安解消のため、小学校就学前である場合や、病状等により必要があると判断した場合、父母又は祖父母等ご家族の付き添いをお願いしているところです。 なお、一時的な用事等でご家族が付き添えない場合、看護師による見守りも行ってまいります。 今後とも、入院を要するお子様への付き添いについて、ご理解とご協力をお願いします。 また、小児科を有する他の県立病院（大島病院、北薩病院）においても、概ね同様の対応となっています。	県立病院課
子育て支援	県民健康プラザへの雨の日でも子供が遊べる場所の設置について	県民健康プラザ健康増進センターのあたりに、屋根つきで子どもたちが遊べる場所を作ってもらえるとありがたい。	健康増進センターには、令和2年10月から鹿屋市の子育て交流プラザが開館しております。雨の日でも利用できる室内施設です。鹿屋市子育て交流プラザに利用申請及び予約をして頂くことで利用可能です。保護者の同伴が必要ですが、新生児から小学3年生までが利用できます。	健康増進課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当 課室
障害者 (児)支 援	医療的ケア児 の移動に対す る支援につい て	<p>医療的ケア児は、病院受診や通院リハビリ、療育施設への通園、学校への通学など、成長に応じて多くの移動が必要になるが、現在ある障害福祉サービスの移動支援は、こういったことには利用できない。医療的ケア児が必要とする移動の支援がない。</p> <p>子供たちが安全に、保護者の負担が少しでも軽減できるように、もっと柔軟に対応できる移動の支援のあり方を考えていただきたい。</p>	<p>屋外での活動に困難がある障害者（児）の外出を支援するため、病院受診や通所リハビリに係る移動については、市町村において、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスにより、支援を行っているところです。</p> <p>また、鹿屋市においては、同法に基づき、障害者の地域での自主的な生活や社会参加を支えるため、病院受診以外の外出における移動支援を行っておりますので、ご相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>県は、市町村のこれらの事業の経費の一部を助成するとともに、今後とも様々な機会を通して、国に対し、事業が計画的に実施できるよう十分な財政措置を要望してまいります。</p>	障害福 祉課 障害者 支援室
障害者 (児)支 援	医療的ケア児 の保護者に対 するレスパイ トケアについ て	<p>（医療的ケア児の）保護者負担について、レスパイトケアが多くのところでは叫ばれているが、大隅半島の医療センターは急性期医療であることから、家族の負担軽減を目的に預かることができない。そのため、保護者は、南九州病院がある加治木まで行かなければならないなど、大隅半島在住者には負担が大きいという現状がある。</p> <p>大隅地区でのレスパイトについて考えていただきたい。</p>	<p>医療的ケア児の保護者がレスパイトとして活用できる施設は、医療機関が行う医療型短期入所事業所となりますが、大隅地区には、現在、同事業所はありません。</p> <p>日中のレスパイトケアとして活用できる障害児通所事業所であれば複数あります。</p> <p>また、看護や介護に係る家族の負担軽減を図るため、訪問看護師が看護を行うための経費の市町村助成に対する補助を行っているところです。</p> <p>県では、医療的ケア児とその家族が地域で適切な支援を受けられるよう、総合調整を行う専門のコーディネーターの養成・派遣を進めてまいります。</p> <p>今後とも、これらの取組を進めつつ、大隅地域における今後の対応について、地元市町とともに検討してまいりたいと考えております。</p>	障害福 祉課
障害者 (児)支 援	障害者が自立 して生活でき る施設の設置 について	<p>障害者の方々が、将来自立して生活できる施設というようなものも検討していただけたらありがたい。</p>	<p>障害者の自立を支援する施設として、グループホームや就労継続支援事業所等があり、障害者の地域生活への移行や自立した生活ができるよう支援をしているところです。</p> <p>今後とも、市町村と連携しながら障害者の方々が地域で安心して暮らしていけるよう、サービス提供体制の確保に努めてまいります。</p>	障害福 祉課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当課室
外国人材支援	在留外国人に対する日本語教育について	増加する在留外国人に対する日本語教室など、生活基盤を安定させるための学習の平等な機会のあり方についてどのように考えているか。	<p>県としては、県内に在留外国人に対する日本語教室等の数が非常に少なく、在留外国人が日本語を学ぶ機会が限られていることは、在留外国人が本県において生活する上で、課題の1つであると考えています。</p> <p>そのため、昨年度から①オンラインでの「日本語・日本文化等理解講座」や②在留外国人に日本語を教えたり、生活情報の支援を行う「日本語サポーター養成講座」を実施するとともに、日本語教室の代表者等を対象とした「地域日本語教育ネットワーク会議」の開催などの取組を開始したところです。</p> <p>引き続き市町村や日本語教育の関係者等とも連携しながら、在留外国人の日本語教育の機会が増えるよう、取組を続けてまいります。</p>	国際交流課
外国人材支援	外国人技能実習生に対する待遇について	（外国人技能実習生の）受入先の待遇というのは様々違うようだが、そういった実態を把握しているのか、把握しているとしたらどのような形で把握しているのか。	<p>県では、県労働局など関係機関と連携しながら、適正な雇用管理や労働関係法令、外国人技能実習関係法令の周知を図るなど、外国人労働者も含めた県内の労働環境改善に取り組んでいるところです。</p> <p>また、外国人総合相談窓口を開設しており、ベトナム人1名を含む相談員2名を配置し、多言語コールセンターなども活用して、英語や中国語、ベトナム語など計21言語で待遇を含む様々な相談に対応しているところです。</p> <p>今後とも、外国人材が安心して働き、暮らせるための環境整備を図ってまいります。</p>	外国人材受入活躍支援課
水産業	水産業への支援について	現状、魚価が非常に下がりがり、カンパチの単価も下がっている。また、出荷量が大幅に減少しているため、水産業は非常に厳しい状況にある。引き続き、支援をいただきたい。	水産業への支援については、生産者団体等が行う販売促進活動や県産水産物の認知度向上への取組のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたカンパチ等の県水産物の消費拡大を図るため、加工経費やPR・販売促進活動等に支援することとしています。	水産振興課
水産業	海外に向けての販路拡大について	経営を安定していくため、漁協としては、今後も、海外に向けて販路を拡大していきたい。	海外に向けての販路拡大については、コロナ禍で変化した輸出先国の需要等のマーケティング調査や輸出商社等が行う販売促進活動、商品開発等の取組を支援するほか、海外への輸出の増加を見据え、最新の加工機器を備えた新加工場の建設について、支援することとしています。	水産振興課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当課室
水産業	「かごしま豊かな海づくり協会」の人工種苗の安定的な生産について	今後の課題の1つに、持続可能なカンパチ生産が挙げられる。鹿児島生まれのカンパチを増やしていきたいので、海づくり協会に（鹿児島生まれの人工種苗について）もっと技術の強化や、支援をしていただきたい。	カンパチの人工種苗生産については、選抜育種による優良品種の技術開発等に取り組んでいるところです。今後とも、養殖業者や関係団体と連携して、優良なカンパチ人工種苗の品種づくりや安定供給に努めてまいります。	水産振興課
商工	中小企業の事業承継について	（中小企業の）後継者不足をどのように解消していくか、鹿児島県としてはどのようなことを考えているのか。	事業承継については、長期的な視点でしっかりと後継者を育成するという意識改革がまず必要です。事業承継における様々な支援策がある中、県独自の支援として、次世代へ経営をつなぐためのセミナーの開催、企業評価にかかる経費への一部補助、支援機関への専門人材の配置等の支援に取り組んでいます。後継者が不在の場合など、事業承継に関するお悩みは、県事業承継・引継ぎ支援センターなどにご相談ください。	中小企業支援課
インフラ整備	海岸線（県道鹿屋吾平佐多線）の早期復旧について	海岸線（県道鹿屋吾平佐多線）に現在もまだ片側しか通れないところがあるので、早めの復旧をお願いしたい。	ご要望のあった県道鹿屋吾平佐多線の災害復旧工事については、災害査定後、必要な用地買収などを終え、令和2年度末までに工事発注を終えたところです。今後、早期復旧を進め、本年秋頃までには工事を完了する予定です。工事期間中は、引き続き片側通行を行います。ご理解ご協力をお願いします。	道路維持課
原子力	鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会の委員について	鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会の委員の人選について伺いたい。	委員の人選や委員構成の見直しについては、九州電力の動向を踏まえながら、しっかりと対応できるように準備を進めていくこととしています。	原子力安全対策課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当課室
原子力	川内原子力発電所の運転期間の20年延長について	川内原子力発電所の運転期間の20年延長は、させないでいただきたい。	九州電力が運転期間延長の認可申請を行う場合には、「原則40年」との認識の下、特例的な取扱いの可否について、県の原子力安全・避難計画等防災専門委員会の委員構成を見直した上で、同委員会において、科学的・技術的な検証を徹底的に行い、九州電力及び原子力規制委員会に対して、厳正な対応を要請してまいります。	エネルギー政策課 原子力安全対策課
原子力	高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分場について	核のごみを絶対鹿児島には持ってこないようにしてほしい。	今後の県勢発展の基盤をしっかりとつくっていくためには、鹿児島県の基幹産業である農林水産業や観光関連産業の更なる振興に取り組む必要があると考えており、本県においては、高レベル放射性廃棄物の最終処分場を受け入れる考えはありません。	エネルギー政策課
教育	教育のデジタル化による負担について	（教育現場で）デジタル化が進んでいる。子供たちを取り巻く環境が大きく変化し、現場の先生方はそれについていけないといけない。その上、「質の高い教育を」とよく言われる。また、デジタル化の推進のように新しいものが増えていくことで、子供が一番の犠牲になるのではないかと懸念している。この教育現場の声というのは、知事に届いているのか。	現在推進されている「教育の情報化」は、教育におけるICT活用の特性や強みを生かすことで、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを促し、児童生徒一人一人の資質・能力を一層確実に育成することのできる教育環境の実現を目指したものです。 県教委では、教職員のICTを活用して指導する力を高めるため、教職員の研修機会の増加や、県内の様々な実践についての情報提供を実施しております。	義務教育課 高校教育課
教育	幼稚園教員免許の更新のための研修について	免許を持っているが働いていないため免許更新の時期に研修を受けられない方々がいるので、受講できるようにしていただきたい。	教員免許状更新講習は、教育職員免許法等に基づき、過去に教員としての勤務経験がある場合や、教員としての勤務経験がない方であっても雇用されることが見込まれる場合は、受講対象者証明書等があれば更新講習を受講することができます。 なお、教員としての勤務経験がなく、かつ、雇用される見込みがない方は受講できません。ご不明な点がございましたら、教職員課へご相談ください。	教職員課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当室
教育	特別支援学校以外の学校への看護師の配置について	<p>養護学校には看護師がいるが、一般の学校にはいないので、会話ができる子どもであっても、医療行為の必要性があれば、普通の学校に通うことは諦めようと言われることがある。</p> <p>一般の学校への看護師の派遣について検討いただきたい。</p>	<p>県教委では、医療的ケアの必要な児童生徒が在籍している学校を設置する市町村に対し、国の看護師配置事業に係る補助金の活用を周知するとともに、県看護協会等と連携して人材確保の協力を行っております。</p>	特別支援教育室
広報	県ホームページの改善について	<p>県のホームページは一般の人にとって見づらいところがある。ページを開いて開いて開いて、結局分からなくて直接電話をして、手間を取らせてしまう。</p>	<p>周知すべき情報、問合せや質問が多い内容について、ホームページへの掲載が不足していないか、ページ構成は適切かとの観点で、改めて、見直してまいります。</p>	広報課

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当課室
その他	SDGsの取組推進について	県内の仲間たちと組んで、SDGsの分野をこれから広めていこうと考えており、ラーニングジャーニーという考え方で、検証などを進めていこうとしている。鹿児島県が、一体となって、様々なことを学べる場所にしていきたい。	SDGsが目指す持続可能な社会を実現するためには、地方自治体及びその地域で活動する多様な主体による積極的な取組が不可欠です。 県としては、県民の方々とSDGsの理念の共有を図るとともに、SDGsの考え方を踏まえ、各般の施策に取り組んでまいります。	計画管理室
その他	大隅地域へのアリーナの建設について	知事の中で、大隅アリーナという構想はないのか。	県としては、現在新たな総合体育館について、スポーツ振興の拠点としての機能に加え、コンサート・イベント等のアリーナ的な多目的利用による交流拠点としての機能が必要と考え、整備に向けた検討を進めているところです。 新たな総合体育館については、まずは、具体的な施設の機能や規模・構成等の検討を行い、その上で、これらを踏まえ、整備候補地について検討を行っていくこととしております。	スポーツ施設対策室

知事とのふれあい対話（鹿屋市）における
参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

区分	意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	担当 課室
その他	鹿児島県のあるべき姿について	知事が考えている鹿児島県のあるべき姿とはどのようなことを考えているか。	<p>人口が減少し高齢化が進む中で、将来的にも地域が持続していけるよう、働く場をしっかりと地元を作り、「稼ぐ力」を向上させ、県民所得の向上を図ってまいります。</p> <p>また、これからは、あらゆる分野でのデジタル化、スマート化の導入が不可欠であり、5GをはじめとするSociety5.0時代のインフラを早期に整備し、経済社会のイノベーション創出の動きをさらに加速させてまいります。</p> <p>これらの取組を行うことで、時代の潮流にも強く柔軟に対応できる社会、安心・安全で持続可能な地域社会を構築するとともに、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備や高齢者が健やかに生きがいを持てる社会の形成などに取り組み、高齢者や女性、障害者、子供たち、あらゆる方々が生き生きと活躍し、暮らしていけるような地域が、鹿児島県のあるべき姿だと思っています。</p>	総合政策課
その他	日米地位協定について	知事として、日米地位協定について、国に対して堂々と交渉できるような意見を言っていたきたい。	<p>日米地位協定につきましては、全国知事会で、航空法などの国内法を原則として米軍にも適用させることなどを求める提言書を決議しているところです。</p> <p>防衛・安全保障政策は国の専管事項であり、国においては、全国知事会の提言内容について、一層積極的に取り組んでいただきたいと考えております。</p>	総合政策課